

広報 にいかっぷ

2024
10
No 693

地元に戻って林業就業実践実習
～伐採前に木を倒す方向の助言を受ける～

議会

- 第3回定例会 -

9月10日に招集された第3回定例町議会は、13日、全日程を終えて閉会しました。定例会では、町長、教育長の行政報告のほか、補正予算などが審議されました。広報では、鳴海町長と奥村教育長の行政報告の概要についてお知らせします。

町長行政報告

1 第28回にいかつぶふるさと祭り

本年の開催が第28回となる「にいかつぶふるさと祭り」は、7月13日、14日において開催されました。本年の開催は、道の駅第二駐車場整備工事において鉄路を撤去したことで多角的な敷地利用が可能となり、主たる会場を従来の農協横敷地として開催されました。

開催両日は、好天に恵まれたこともあり来場者数は、昨年を大きく上回る1万6千人を数えるなど多くの町民で賑わい、笑顔あふれるお祭りであったと実感しています。また、本年の開催は従来の開催会場となったことで駅前通りが歩行者天国となり、俵かつぎレースが復活するなど

若衆会をはじめ多くの団体が祭りの開催に関わり、新冠町らしい「ふるさと祭り」であったと思います。お祭りは、地域に賑わいをもたらしますが、なにより子ども達にとっては貴重な夏の体験であり、多くの町民が交流し、社会的なつながりと地域社会の一体感を感じる機会として大きな意義のある伝統事業だと考え、大切に継承していくべきものと思います。

本年の新冠ふるさと祭りの開催は、実行委員会を中心に商工会青年部、そして多くのボランティアの協力により、事故もなく盛況のうちに終わることができたものと考え、多くの町民によってまちづくりが支えられていることを実感し、改めて関係者の皆さまに感謝する次第です。今後においても町として支援して行く考えであり、伝統事業の継承に努める所存です。

2 将来のまちづくりを見据えた土地の取得

町はこれまで人口減少対策として、さまざまな定住移住政策などを行い、管内他町との比較では人口減少幅が小さいなど一定の成果を得てきましたが、近年では市街地に住宅建設の可能な用地が不足していることで更なる人口減少対策の推進に力

強さを感じることができずにいました。そのため関係課は、定住移住検討会議を令和4年11月25日に立ち上げ、宅地開発可能地の検討を始めました。

検討会議の議論は、市街地内の町有地を中心に、未利用民有地を含めた中で検討を進めましたが、一定の敷地面積と交通アクセスを考えたとき、町有地に適地はなかったため、民有地の中で検討を進めた結果、宇北星町5番地の1ほか10筆の宅地と農地からなる民有地が有力な候補地との結論に至り、所有者の売却意思についても把握できました。

検討会議の結論を受け、私は、人口減少対策としての宅地開発事業の可能性、そして公共施設の建設など、さまざまなまちづくり施策の展開が可能になると考え、取得に向けた取り組みの推進を指示しました。

取得に向けた取り組みは、権利関係の整理、売買価格の交渉と当事者の個別事情や法的手続き、さらには地目の変更手続きなどがあり、いずれも多くの時間を要する事項でありましたが、土地所有者の意向と申請により本年8月28日段階において、地目変更などに係る諸手続きが完了されたことで、町が当該地を取得できる状況が整いました。

町としては、土地所有者の意向を踏まえ本定例会において諸経費の予との歴史や自然などの資源を活用した学習や体験機会の提供、更には、体力向上やスポーツに親しむ機会の提供など、町民の皆さんのご協力をいただきながら、年間を通じた事業展開を図ることができたと考えております。

教育委員会としては、評価の過程で頂いたご意見を参考に、今年度の事務事業の執行に活かしていくのとともに、次年度以降の事務事業の改善や推進に努めたいと考えております。なお、評価内容の詳細につきましては、改めて報告書をご確認ください。

2 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果

本調査は、小学校6学年、中学校3学年を対象に国語と算数・数学の2教科について調査を実施しました。また、『教科に関する調査』に加え、生活習慣や学習方法、学習環境や生活の側面などに関する『児童生徒質問調査』や、学校における指導方法に関する取り組みや、人的・物的な教育条件の整備状況などに関する『学校質問調査』も行いました。

はじめに教科に関する調査については、小学校では、国語は前年を上回り、全国平均を上回りましたが、算数においては全道・全国平均より低いという結果となりました。

算化を行い、財産の取得に係る手続きを進めたいと考えておりますが、最後まで細心の注意をもって取り進めるよう担当課に指示しています。

この度の土地取得に向けた取り組みは、私が二期目の公約に掲げた職員の自主的な検討会議によるまちづくり提案と定住移住施策の推進という2つの公約実現と考えています。

今、新冠町には間近に迫る新冠ICの開設など、町の将来を明るく照らす事業がいくつもあります。この度の土地取得に係る取り組みの実現もその1つであると考え、残る手続も滞りなく進める所存です。

3 新冠町老人憩の家における灯油漏えい事故

5月22日に判明した漏えい事故の対応として、7月1日の臨時会で予算措置を頂き、7月4日から専門業者の土壌汚染調査を実施しました。

調査は、汚染が疑われる延長27m、深さ2mの範囲で土壌を採取し、含まれる「油分濃度」と「油臭・油膜の有無」に基づく分析を行い、延長15m、深さ1.5mの範囲で汚染があることが判明しました。

この調査結果を受け、当初は汚染土を撤去して廃棄物として処理する方法を検討していましたが、幸いにも汚染状況が軽微であったため、微生物を含んだ溶液を土壌に注入し洗

中学校では、国語、数学ともに前年を下回り、問題の難易度により平均正答率は上下しますが、各科目とも全道・全国平均より低いという結果となりました。

次に、児童生徒質問紙における学習習慣等の調査では、小学校において「自分で学び方を考え、工夫することができるとする児童の割合が高くなっている一方で、家庭での学習時間は小学校・中学校ともに全国を大きく下回り、不十分であると言えることから、家庭との連携はもとより、今年度は中学校のテスト期間に合わせ小中連携による家庭学習強化週間の取り組みを行います。

また、「自分には良いところがある」「将来の夢や目標を持っている」といった自己肯定感や自己有用感の質問では、昨年度と比べ肯定的な回答の割合はほぼ同様となっていますが、全国と比較すると依然として低い傾向にあり、その差は中学校で大きくなっています。

今年度の教育執行方針で示しました「自己決定の場を育む授業」、「自己存在感を育む授業」、「共感的な人間関係を育む授業」の生徒指導における三機能を活かした学級経営、教科経営を行っていくことの重要性を学校全体で共有し取り組み、全ての児童生徒に活躍する場を与えることで、学習に対する意欲や姿勢

教育行政報告

1 「教育委員会点検・評価報告書」の提出

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、「効果的な教育行政を推進し、地域住民への説明責任を果たす」ことを目的に、教育委員会がその権限に属する事務事業の管理、執行の状況について、点検・評価を行うこ

ととされており、例年、その内容を議会に報告し、町のホームページにおいて公表しています。今年度は、令和5年度に教育行政執行方針で掲げた重点施策に基づき、教育委員会各課が実施した事務事業について、学校教育は各学校の評価なども踏まえながら内部評価を行った後、学校運営協議会、社会教育委員協議会、スポーツ推進委員会、認定こども園保護者会に外部評価を頂きました。

令和5年度の教育行政の執行は、重点施策に基づき概ね計画どおり実施できたものと考えております。管理課所管の学校教育に係る事務事業では、「個別最適な学び・協働的な学びの充実、学力の向上」に向けた授業改善とICTの効果的な活用、地域資源を活用したふるさと教育の実践、教育環境の整備として教職員の働き方改革への対応、認定こども園においては、小学校への接続を意識した幼児教育の推進および保育教諭研修の充実、また、小学校統合へ向けた交流学习と交流活動の取り組みなど、計画した教育環境整備とそれらを活用した教育活動の実践が図られたと考えております。

また、社会教育課所管事務事業におきましては、「町民憲章とReの精神」を意識した社会教育の推進として、レ・コールド館を中心とした特色ある社会教育事業の実践、ふるさ

法政大学が新冠町で サラブレッド産業に触れるフィールドワークを実施



9月9日から12日の4日間、法政大学の学生9名が新冠町でサラブレッド産業に触れるフィールドワークを行いました。この取り組みは、錦岡牧場が永年、法政大学の馬術部に引退競走馬を寄贈していたことがきっかけで実現しました。

初日は町長へ表敬訪問を行い、その後、学生たちは新冠町の情報と牧場マナーを学び、いっかっポホロシリ乗馬クラブで乗馬体験をしました。学生は全員「競馬は好きだが、サラブレッドに触れたことがない」という共通点があり、初めてサラブレッドに触れる機会となりました。

2日目からはサンローゼン、竹中進一牧場、中地牧場、ナスノファーム、豊栄牧場の5牧場に学生たちが分れて、2日間の作業体験が始まりました。最初は怖がっていた学生たちも次第に慣れ、また大変な牧場の作業にも「やりがいを感じ前向きに取り組めた」と述べるなど多くの事を経験している様子でした。

最終日には牧場で成果発表が行われ、学生たちは3日間の滞在で感じた町の課題点と解決策を発表しました。発表を見に来た牧場関係者からも現状を聞くなど最後まで町をより知ること



町長と記念撮影をする法政大学の学生と高見教授

に努め、最後にまちづくりに対する提言を発表しました。

発表後、学生たちはキタジヨファームの育成施設を見学し、門別競馬場を訪問しました。今後、学生たちはフィールドワークに基づく小論文を作成する予定です。

学生たちは「貴重な体験だった」「静かでリラックスできた」「人が温かい」「就職の選択肢が増えた」と感想を述べていました。今回の経験を通じて新冠町に興味を持ち、周りにもその魅力を伝えてほしいと思います。

法政大学は最後に、「学生が貴重な経験を得ることができたのは、受け入れ牧場の深いご理解と支援のおかげです」と牧場の皆さまの協力を深く感謝し、北海道をあとにしました。

の向上に努めます。

本調査は、児童生徒が身に着けるべき学力の一部分の傾向であることや、調査結果は、学校における教育活動の側面であることから、これらの調査結果と他のさまざまな情報を合わせて、総合的に分析・評価することが必要であり、個々の設問や領域などに着目して、学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習意欲の向上につなげることが重要となります。

各校においては、本年度の結果を踏まえ、校長を中心として、教職員が詳細な結果分析を行い、共通認識を持った上で、今後の授業改善や、家庭学習の定着化に向けた取り組みを強化していくこととしております。

また、当町では各校の結果分析などを受けて、教職員で組織する学力向上推進委員会において、町としての分析と課題整理を行った上で、目標を定め町全体として共通の取り組みを行います。

なお、調査結果の詳細については、町広報誌において、今後の改善策を含め、改めて公表する予定です。

3 中体連全道大会および各種大会の出場結果

新冠中学校では、本年度、陸上、柔道、サッカー、男子バレーボールの4種目が、中体連全道大会への出場を果たしました。

各種目において健闘され、男子バレーボールでは、決勝トーナメントまで駒を進めましたが惜しくも1回戦で敗退となり、そのほかの競技も1点を争う好ゲームを繰り広げるなど、生徒たちは日頃の練習の成果を発揮しながら奮闘しました。

また、吹奏楽部においては、「日胆地区吹奏楽コンクール」に出場し、結果は惜しくも銀賞となりましたが、安定した演奏を披露し、社会教育と連携した吹奏楽指導による成果であると感じております。

各種大会へ出場した生徒たちは、緊張感溢れる会場において、技術力や精神力の面で多くのことを学ぶ貴重な経験となったものと思います。

教育委員会では、全道大会などへの選手派遣に係る費用は全面的に支援しているところですが、本定例会において今後出場を予定している大会に係る費用について補正予算を計上しておりますので、ご理解のほどよろしく願います。

4 感染症の拡大に伴う認定ことも園下・レ・ミのクラス閉鎖

新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが、季節性インフルエンザ等と同等となった昨年5月以降も、認定ことも園下・レ・ミでは、引き続き感染症対策に留意しながら園運営を行っているところですが、本定例会において今後出場を予定している大会に係る費用について補正予算を計上しておりますので、ご理解のほどよろしく願います。

5 レ・コード館展望塔「喫茶ぶれす」の閉店と今後の運営

レ・コード館展望塔は、平成23年から新冠町観光協会と施設の使用貸借を行っているところですが、当該感染症のほか、溶連菌感染症や手足口病といったさまざまな感染症の発生が見られます。

9月に入り、2歳児クラスにおいて、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザ、また発熱などによる欠席児童が増え、休業目安として2割を超える4名の欠席者となったほか、当該クラスの担当する複数の保育士などへの感染も確認されました。

このことから、職員体制が整えることが困難であることや、感染拡大の防止を図る上でも当該クラスについては当面の間、個別事情による保育要望を除き、児童受入れの休止が適切であると判断し、9月4日から7日までの4日間、2歳児クラスを閉鎖する措置をとりました。

ド・レ・ミにおける教育・保育活動においては、今後も手洗いや消毒液を用いた小まめな拭き掃除など基本的な感染症対策を継続し、状況に応じて感染対策を強めるなど、子どもたちと保護者が笑顔で安心して通園できる園運営に取り組みますので、ご理解のほどよろしく願います。

貸契約を交わし、観光協会の会員である社会福祉法人新冠ほくと園が「喫茶ぶれす」を開設しております。

平成30年に新冠ほくと園より、利用者数減少による収入減や人員確保の問題により閉店の申し入れがありました。しかし、展望塔の警備体制が整わないことから、有償での管理委託も兼ね運営を再度申し入れ、継続して営業を続けていました。

しかし、コロナ禍の影響もあり、売上が少なく採算が取れない厳しい経営が続いていること、隣接する「いっかっキッチン」内での同一店舗の出店もあり、人員が確保できないなどことから、昨年11月、再度、閉店の申し出がありました。

このことを受け、観光協会も交えて協議を行いました。継続は難しいとの結論から、閑散時期に入る前の8月末までの営業を依頼し、閑散期となる9月から3月の間、展望塔は無入化として、新たに監視カメラの設置や人型ロボットを配備するなどして観光案内や防犯対策を講じて運営することとしました。

なお、次年度4月から喫茶および管理委託を請負う企業、個人および団体について、本年10月から募集する予定としております。

町民の皆さまには、その間、ご不便をお掛けしますが、ご理解のほどよろしく願います。

専門学院生が地元に戻って

伐採作業などの就業実践実習



8月26日から9月6日まで、道立北の森づくり専門学院2年の松岡一斗さんが地元の新冠町での実習を希望し、(有)名須川林業で伐採作業などの就業実践実習を行いました。今回は初の受け入れとなる(有)名須川林業の伊藤洋志代表取締役は「林業作業員が減っている中、林業に目を向けてくれた。今回の実習が成長につながると思う。来春の卒業が楽しみ」と話していました。

災害を想定し

親子で防災キャンプ

9月7日と8日の2日間、教育委員会は朝日の森で「防災キャンプ体験」を開催し、小学生とその保護者24名が参加しました。この事業は、災害時の避難所生活を想定し、避難所に備蓄してある防災資器材を使って生活する体験事業として行われました。参加者は段ボールベッドや防災テントの組み立て、炊き出しや焚き火など避難所で生活するために必要なことを体験しました。また、陸上自衛隊静内駐屯地の協力で、人命救助システムの見学と活用体験も実施しました。

大切なのは「浮くこと」

小学5年生が着衣水泳を体験



9月9日、新冠小学校5年生の児童たちは町民プールで着衣水泳を体験しました。着衣水泳は水難事故の際に身を守るために役立つ技術で、新冠消防の指導のもと行われました。児童たちは「泳ぐことより浮くことが大切」と学んだ後、服の中に空気を入れて浮く方法や空のペットボトルを使って浮く方法などを体験しました。

小学生が福祉体験教室で

高齢者に夕食弁当を配達



町保健福祉課は9月2日から5日まで福祉体験教室「ふれあい夕食配達」を開催し、10名の小学生が参加しました。参加した小学生は放課後、町民センターに集合し、高齢者向けの夕食配達事業である「ふれあい夕食」事業の説明を受けた後、民生委員らと一緒に夕食弁当を配達しました。訪問先で参加児童が手紙を添えてお弁当を渡すと、利用者は大変喜んでいました。

ポロシリ生活館で

新冠無縁墓供養法要が行われる



9月18日、新冠アイヌ協会はポロシリ生活館で、アイヌの伝統的な儀式である第42回新冠無縁墓供養法要(イチチャルパ)を執り行いました。この日は北海道アイヌ協会や近隣町のアイヌ協会のほか、鳴海町長や氏家議長などの来賓が出席し、昨年10月に完成した合葬墓に眠る先人の霊を慰めるため、神酒を捧げるカムイノミなどの儀式が行われました。

アイランド大使が

町長を表敬訪問



9月30日、デミアン・コイル駐日アイランド大使が新冠町を訪れ、町長を表敬訪問しました。今回の大使来道は北海道との連携を深めるため、当町のバカパカファームで催しが開催されたことから訪問が実現したものです。対談で大使は「経済や競走馬の生産などアイランドと似ている部分が多いので、今後、更なる連携を図りたい」と述べられました。

その2

まちの話

題

あれこれ

故・久保田實さんの

回顧展を開催

9月19日から22日までの間、故・久保田實さんが生前住んでいた字北星町の自宅で回顧展が開催されました。久保田實さんは、新冠町で教員として勤務した経験があるほか、絵画サークル「アトリエの会」の講師も務めました。また「文藝にいかつぶ」の表紙絵やレ・コード館に展示している大きな油絵を描いた方でもあります。この回顧展は息子の慎吾さんが「父にとつて最後の個展を開きたい」と



の思いで開催したもので、自宅には油絵、水彩画を中心に450点以上の作品が展示され、多くの人が訪れました。

今年度で100歳を迎える町民に

内閣総理大臣からの祝状を伝達



9月の敬老月間に合わせ、来年3月までに100歳を迎える5名の町民に対して、内閣総理大臣祝状の伝達と記念品の銀杯が贈呈され、併せて、新冠町から長寿祝金が贈呈されました。町内各所で行われた伝達式ならびに贈呈式では、ご家族などたくさんの方々に見守られ、長寿を祝うと共に、末永い健康を祈念しました。

○来年の3月までに百歳を迎える皆さま

藤田 愛子さん (写真①右側)

長濱 マツさん (写真①中央)

長濱 スミ子さん (写真①左側)

下村 ミヨ子さん (写真②)

山口 八重さん (伝達式欠席)



役場からのお知らせ

— Niikappu Town Office Information —

教育委員会社会教育課（レ・コード館）からのお知らせ

「新冠町二十歳を祝う式典」のお知らせ

令和7年1月12日（日）レ・コード館において「二十歳を祝う式典」を開催します。出席するには事前の申込が必要です。

○対象者

平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの方で、次の条件を満たす方。

- （1）現在、新冠町に居住している方
- （2）新冠町出身の方

○開催日時

令和7年1月12日（日）12時00分～12時30分
※11時30分までにお集まりください

○会場：レ・コード館町民ホール

○申込方法

申込フォームより必要事項を入力し申込み下さい。申込フォームには下記QRコードよりアクセスできます。



<https://docs.google.com/forms/d/1AowwR81rLwj45VFrTKbjGLymBULWtKA-x0BY7GqqPhI/edit>

申込後、11月29日までに式典の案内が郵送されない場合は必ずお問い合わせください。

○申込期限 令和6年11月15日（金）まで

●問い合わせ先：教育委員会社会教育課（レ・コード館）

「第54回新冠町民文化祭」のお知らせ

町民文化祭を下記の日程で開催します。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。（入場無料）

●【芸能発表会】

○日程：10月20日（日）
開場12時30分 開演13時00分

○会場：レ・コード館 町民ホール

●【出演団体】

- 新冠中学校吹奏楽部、にいかっぷピーマン楽団、シングシング、新冠フラサークル、ハーモニカサークルハルニレ、新冠判官太鼓保存会、合唱団V o l、新冠カラオケ協会、こまどり民謡会、レ・コード館ダンス舞、市民劇団「ど・こ〜れ新冠」

●【総合作品展】

○日程：10月25日（金）～10月27日（日）
10時00分～18時00分

※10月27日（日）は16時00分まで

○会場：レ・コード館 町民ホール

●【作品出展団体】

- 墨新会、池の坊 新冠華道サークル、新冠書院、此の径短歌サークル、新冠陶芸サークル、にいかっぷネイチャーズクラブ、放課後子ども教室、認定こども園ド・レ・ミ、新冠ほくと園、町内小中学校、新冠町地域包括支援センター、生涯学習講座、個人出展者

●問い合わせ先：教育委員会社会教育課（レ・コード館）

☎ 0146・45・7833 FAX 0146・45・7778

メール：record01@cocoa.ocn.ne.jp

水道水の水質検査結果

町では、安全で良質な水道水の供給を行うため、定期的に水質検査を実施しています。今年度は、7月から9月にかけて全項目検査を実施したところ、全ての水質項目において、基準に適合していることを確認しました。

詳しくは、建設水道課窓口と町ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

●問い合わせ先：建設水道課建設グループ上下水道係

☎ 0146・47・2519

新冠町功労賞・善行賞贈呈式

次の日程により、今日の本町発展の基礎づくりに貢献された方々に敬意と感謝を表し、功労賞・善行賞贈呈式を挙行いたしますので、町民の皆さんのご参列をお待ちしております。

○日時 11月3日（日・祝）午前10時開式

○場所 レ・コード館 町民ホール

●問い合わせ先：総務課総務グループ総務係

☎ 0146・47・2497

令和6年度上半期『地域貢献活動』

地域貢献の一環として、町内の公共施設や駐車場などの環境整備に貢献いただき、ありがとうございました。

令和6年4月から9月の間に実施していただきました地域貢献活動は下記のとおりです。

期 日	団体・会社名	事業内容
6月26日	平村・登・梶浦経常建設共同企業体	新冠中学校地下タンク補修・小学校物置移動
8月19日	株式会社 磯田組	新冠中学校生徒玄関前舗装修繕
8月21日	菱中建設株式会社 室蘭支店	道の駅・レコード館 駐車場舗装修繕
8月26日	北海道道路産業株式会社	道の駅・レコード館 駐車場区画線修繕

バッテリー電池はごみ排出ができません

バッテリー電池は、充電式電化製品に多く使用されており、小型家電や不燃ごみで排出されると接触などにより発火し、処理場や運搬車での火災の原因となることから、町では現在収集していません。スリーアローマークが表示されているバッテリー電池は、ケーズデンキ新ひだか店およびDCM静内店で回収しています。また、マークの表示がないバッテリー電池は取り扱い専門業者による廃棄となっておりますので、そちらでの対応をお願いします。

○バッテリー電池製品例

ノートパソコン、電子タバコ、充電式掃除機など



3つの矢印の「スリーアローマーク」が、ごみ排出できない電池の目印です。

●問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ環境衛生係

☎ 0146・47・2112

健康カレンダー

（お問い合わせ先：保健福祉課 ☎ 0146・47・2113）

月 日	時 間	事業名	場 所
10月 16日(水)	13:00~16:30	フッ素塗布	保健センター
22日(火)	受付 13:00~	4・7・12ヶ月児健康診査 1歳6ヶ月・3歳児健康診査	
30日(水)	10:00~11:30	母親学級キレイ☆ママパパー～む～育児編～	
11月 9日(土)	受付 6:30~	特定健診、若年健診 胃・肺・大腸・前立腺がん検診	保健センター
10日(日)		肝炎ウイルス・エキノ コックス症検査	
11日(月)		風しん抗体価検査	
13日(水)	10:00~12:00	からだリセット講座	
14日(木)	13:00~16:30	フッ素塗布	
26日(火)	受付 10:00~ 受付 13:00~	4・7・12ヶ月児健康診査 1歳6ヶ月・3歳児健康診査	

事業の詳細は、対象者への個別案内や町政事務委託文書などでお知らせします。

ご寄附ありがとうございました。(敬称略)

●老人ホーム「恵寿荘」で役立ててと

☆ボランティアグループあゆみ (古布34束)

☆ボランティアグループちょぼら (カット布6袋)

新冠町社会福祉協議会へ

●香典返しに代えて

☆谷口 邦子 (30,000円)

☆中村 忠行 (50,000円)

☆竹中 浩二 (50,000円)

☆芳住 革二 (100,000円)

●福祉事業に役立ててと

☆匿名 (古切手1袋)

☆匿名 (古切手3袋)

☆匿名 (古布1袋)

☆匿名 (古布1袋)

☆匿名 (古布3袋)

☆匿名 (おむつ13袋)

古布の寄贈のお願い

古着や古シャツなど、使用しなくなったものがありましたら、直接、国保診療所・老人ホーム恵寿荘・町社会福祉協議会にご持参ください。

お知らせコーナー

みんなでチェック!! 北海道最低賃金

北海道内の事業場で働くすべての労働者（会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人）および、その使用者に適用される北海道最低賃金が令和6年10月1日より改定されました。

北海道最低賃金

時間額 1010円

・最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金および時間外等割増賃金は算入されません。
・最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。

・特定の産業（「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」）で働く方には、北海道の

特定（産業別）最低賃金が適用されます。

お問い合わせ先

北海道労働局労働基準部賃金室
☎011・709・2311

個別的労使紛争 あっせん制度のご案内

解雇や賃金未払、ハラスメントなどの労働問題で悩んでいますか？

北海道労働委員会では、労働問題に詳しい経験豊かな「あっせん員」が、当事者双方から話をうかがい、問題点を整理した上で助言などを行い、歩み寄りによる解決を図る「あっせん」を行っております。「あっせん」の利用は無料で、迅速な解決を目指します。

詳しくは、ウェブで「北海道労働委員会 個別あっせん」と検索していただくか、次の連絡先までお問い合わせください。

●お問い合わせ先
北海道労働委員会事務局調整課
☎011・204・5667

「一日行政相談所」 開設のお知らせ

10月28日（月）に一日行政相談所を開設します。行政に対する皆さんの苦情や意見、要望などの相談を無料で受け付けていたします。

日時

10月28日（月） 10時～15時

場所

レ・コード館研修室2

お問い合わせ先

総務省行政相談委員 東義海
☎0146・47・3129

赤い羽根共同募金への ご協力をお願い

赤い羽根共同募金は高齢者、子ども、障がい者などを対象とした幅広い福祉活動のために役立てられます。募金への協力は、自治会での戸別募金の他、町内各地に設置した募金箱、寄付金付きグッズ（バッチ・クリアファイルなど）でも可能となっております。町内福祉の充実に向けご協力をお願いします。

○期間 10月1日～12月31日

お問い合わせ先

新冠町共同募金委員会
（新冠町社会福祉協議会内）
☎0146・47・2130

心配ごと相談員による 面接相談

新冠町社会福祉協議会では、町民の皆さまの心配ごとや困りごとについて相談窓口を常設し、偶数月には専門の相談員による面接相談所を開設してまいります。

ご相談のある方はご来所いただくか、お問い合わせ先までご連絡ください。

ご要望に応じてご自宅などでの相談も可能です。

日時

10月23日（水） 10時～15時

場所

町社会福祉協議会

相談員

鬼海 将芳 氏

相談料

無料

お問い合わせ先

新冠町社会福祉協議会
☎0146・47・2130

狩猟期間中における 道有林への入林自粛

エゾシカ狩猟期間中（地域によって異なりますが、多くの地域では10月1日から3月31日まで）は、多くの狩猟者が道有林へ入林します。

狩猟に伴う事故防止のため、この期間の狩猟目的以外での入林はお控えくださるようお願いいたします。

エゾシカによる森林等被害を低減するため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ先

北海道水産林務部森林環境局道有林課道有林管理係
☎011・204・5519

働きたい方のための 出張相談会

とまこまい若者サポートステーションは、働きたいと思われる方に向けた就労自立支援施設です。その他就職相談も歓迎です。

「働きたい」を応援する無料出張相談会を開催します。

日時

10月22日（火） 13時30分～15時（先着順・予約可）

対象

15歳から49歳の方、ご家族

場所

ハローワーク静内分室 ショッピングプラザピユア3階

内容

就労相談・就労体験ほか

お問い合わせ先

とまこまい若者サポートステーション
☎0144・84・8670

日高弁護士相談センター

相談は予約制です。相談を希望される方はお電話ください。

センター開設日

10月16日（水）・21日（月）

23日（水）・28日（月）

30日（水）

11月6日（水）・11日（月）

13日（水）・18日（月）

20日（水）・25日（月）

27日（水）

相談時間

13時～15時

予約受付

平日10時～16時

ご予約・お問い合わせ先

ひだか弁護士相談センター
☎0146・42・8373

REVI(ルヴィ)正規代理店
Leo
何歳からでも遅くない!!
長年の悩みを一緒に解決しませんか?
REVI陶肌トリートメント
次世代デュアルシステム脱毛
ネイル&アイブロウ
REVI化粧品導入サロン
新冠町字西泊津13-72
レコードの森ニュータウン内
TEL:080-2873-6600
ご予約はこちら

すぐに伺います!
※福祉用具レンタル・販売
・歩行器・つえ・車いす・ベット 介護用品
※住宅改修 ・手すり取付・段差解消など
福祉用具専門相談員のいる店
新冠町北星町18-9
(有)西村金物店
01464-47-3122

あなたの町のカー & ライフサポーター!!
BRIDGESTONE カーケア & タイヤショップ
SUZUKI ARENA スズキアリーナ新冠
新冠郡新冠町中央町5-28 TEL.(47)-2820
ココロも満タんに
コスモ石油
新和SS (47)-5011 新冠SS (47)-3830
株式会社 伊藤商会

あなたの悩みに
完全無料
相談予約ダイヤル
0146-42-8373
平日10:00~16:00(12:00~13:00を除く)
札幌弁護士会 ひだか弁護士相談センター

フラワーアレンジメント
スタンド花
TEL 0146-47-4878
FAX 0146-47-4879
新冠町字東町 19-18

平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集
自衛隊札幌地方協力本部
静内分駐所
(TEL)0146-44-2855

ひだか総合法律事務所 (旧ひだかひまわり基金法律事務所)
弁護士 原 英士 (札幌弁護士会所属) / 原 万里子 (札幌弁護士会所属)
* 借金・多重債務 * 交通事故 * 離婚 * 相続・遺言 * 軽種馬 * 労働問題 * 不動産トラブル * 悪徳商法 * 刑事事件 など
借金・交通事故・相続については、初回相談無料です。☎(0146)43-1206
日高郡新ひだか町静内御幸町 3-1-78 2階 (静内エクリプスホテル向かい)

新冠町相談支援事業所 相談室かける
新冠町にお住いの障がいのある方の様々な相談に対応します
○相談は年齢や障がい種別を問いません
○福祉サービスの利用、日常生活、仕事などのような内容にも応じます
○相談にかかる費用は無料です
新冠町本町 65-17 えましましあ1階 TEL:47-2333

OA・文具・家具・カーテン
株式会社
リパティ はしもと
Liberty Hashimoto
TEL(45)-7021 FAX(45)-7022
新冠町字北星町2-61(役場の目の前)

暮らしなんでも相談室
仕事・借金・法律・介護・福祉
暮らし・年金・子育て
フリーダイヤル なやみ ゼロ
相談無料 0120-783-000
※毎週 月・水・金曜日10時～16時まで受付 (祝日除く)
北海道ライフサポートセンター
日胆サテライト
TEL (0143)46-7830

季節労働者 技能講習
受講しませんか?
車両系建設機械(整地等)、
小型移動式クレーン等を
無料で受講できます。 ※期間1人1講座、先着順
お問い合わせ 新冠町まちづくり推進課内・新冠町企業課内
日高中部通年雇用促進協議会
☎0146-49-0293(直通)



夜間開館のお知らせ

毎週水曜日は、夜間開館日です。
夜8時まで開館しています。

アニマル号 (移動図書館車) 運行日程

10月18日	12:45 ~ 13:10	新冠中学校
	14:45 ~ 15:15	新冠小学校
	15:20 ~ 15:40	町民センター前 (児童館)
	16:00 ~ 16:30	認定こども園ド・レ・ミ
24日	11:00 ~ 11:15	太陽郵便局
11月8日	12:50 ~ 13:20	認定こども園ド・レ・ミ
	14:45 ~ 15:15	新冠小学校
	15:20 ~ 15:40	町民センター前 (児童館)
14日	10:05 ~ 10:20	新冠小学校
	10:50 ~ 11:05	おうらの郷
	12:15 ~ 12:30	子ども発達支援センター

※状況により運行が変更・中止となる場合があります

びっくり箱のおはなし会

主催 読み聞かせの会「びっくり箱」
場所 図書プラザ おはなしのへや

10月23日(水) 10:30 ~ 赤ちゃんの絵本の読み聞かせ
26日(土) 13:30 ~ 定例読み聞かせ

※感染予防対策へのご協力をお願いします
※状況によって中止となる場合があります

読書週間事業のお知らせ

図書プラザでは、10月26日から11月10日まで読書週間事業を実施いたします。読書週間事業期間中は、各種展示をはじめ、写真家・写真絵本作家小寺卓矢さんのワークショップや講演会も予定しております。

また、毎回ご好評をいただいております「リサイクル市」も実施いたします。詳しい内容につきましては、別途周知チラシ、図書プラザホームページや館内掲示、レ・コード館のフェイスブックなどでご確認ください。

●問い合わせ先 レ・コード館図書プラザ ☎0146・45・7777



図書プラザHP

今月の一冊



「80代、自宅で快適に暮らす片づけ」
弘瀬 美加 著/興陽館

高齢になっても愛着ある家で暮らし続けるため、元気なうちから準備することが大切だ。本書では、捨てるモノの仕分け方、転ばない部屋づくり等、具体的なアイデアを多数紹介。本書を参考に今日からできることを考えてみたい。

新着ガイド

「書く力」の教室	田中 泰延
江戸時代謎の事件の真相	三浦 竜
はじめての『簿記』	大下 航
甲状腺の病気	伊藤 公一
軽めし	山口 祐加
牛がおしえてくれたこと	高田 千鶴
捨てられた僕と母猫と奇跡	船ヶ山 哲
北海道昭和の鉄道風景	坂東 忠明
最後の適当日記 (仮)	高田 純次
あたらしい自然あそび	奥山 英治
有罪、とAは告げた	中山 七里
首木の民	誉田 哲也
怪談屋怪談	川奈 まり子
鷹の飛翔	堂場 瞬一
獣の夜	森 絵都
アルプス席の母	早見 和真
もどき友成	佐伯 泰英
江戸咎人逃亡伝	伊東 潤
人生に期待するな	北野 武

みんなの広場

ぼくとわたしの

夢

新冠小学校6年生です



私は、大人になったら一人はいやなので、友達と仲良く都会のマンションに住みたいです。

橋本 美南



ぼくは、大人になったら、プロ野球で活やくして、日本代表になって世界一になって、みんなに勇気をあたえたい。

畠山 竜空



ぼくの夢はプロ野球選手です。170キロを出して、日本人最速の球を投げたいと思っています。

原口 侑大



『北海道歴検図』の新冠

ふるさと探究 第6回 『新冠会所』

判官館岬の海岸を会所前と呼ぶことがあります。会所とは行政的な役割、交通・交易の要所、北方警備として重要な建物でした。松前藩が治めた頃は、運上家、幕府が統治してからは会所(か いしよ)と改めています。

会所(間口約40m、奥行約9m)を中心として、宿泊所、厩、倉庫、弁天社があり、全体を柵で囲んでいました。また緊急時のために静内との境に流木を積んだ烽火(のろし)場を準備していました。安政6年(一八五九)

以後は新冠を含む白老から太平洋沿岸までが仙台藩の警備担当領域となっています。

新冠の鳥瞰図は、絵師である谷文晁の門下で幕吏の目賀田帯刀(めがたたてわき)が安政3(4)年に蝦夷地の事情を知るために踏査して幕府に提出したものです。明治4年(一八七一)、帯刀は開拓使から模写を要請され、極彩色で大判(約90cm)の折本3冊にまとめました。現在は北海道大学図書館で『北海道歴検図』として保管されています。(乾芳宏)



新冠百話

第七十二話

「アイヌラックルの生いたちの話（伝説）」（要約文）

これは、新冠のアイヌの長に伝えられた物語である。幼いアイヌラックル（*1）は、山の奥深くにある城で、女神によって育てられていた。この女神は、肌が美しく光り輝いているような神々しさがあつた。毎朝、早く起きては食事を用意し、アイヌラックルを大切に育てて、不自由な生活を送っていた。

成長したアイヌラックルは、女神からシカを獲ってくるよう頼まれた。山奥の城を出て、初めて見る外の景色に感激しながら川づたいに歩いて行つた。すると、川の平岩にカワセミとカワガラスがとまつたのを見かけた。しかし、ふと見ると鳥に見えていた小鳥は、二人の少女の姿をしていて、二人とも衣服を手にしていた。何でも、この衣服を「大椀棚荒胸元鍋抱（おおわんたなあらしむなもとなかかえ）」と呼ばれる、別のアイヌラックルに贈るといふこと。自分に贈られる衣服ではないことにアイヌラックルは腹を立てたが、気を取り直して歩みを進めた。すると、角の大きなシカを見かけた。気を付けながら矢を放つと、見事命中してシカは倒れた。獲つたシカを持って城へ戻る途中、先ほどの少女たちが衣服を持ちながら戯れていた。アイヌラックルは腹を立てて服を引き裂いてしまった。

とても喜んだ。シカの肉を煮て、二人で一緒においしく食べた。食べ終わると女神はゆつくりと話をはじめた。

『さあ、祖父から伝えられた昔話を話そう。どんなことを聞いても腹を立ててはならないよ。最初に天から降ろされたのは「チキサニの神（ハルニレ（*2）の女神）」だった。そこに、蒼天の神が現れた。これは、兄弟の男神で二人の神だった。男神の方はチキサニと仲良くなり、親しくしていたが、やがて戦に明け暮れるようになった。まさに、食事をとる暇もないくらい戦に追われた。たまに食事を折には、所かまわず家に押し入つては一番大きな椀を棚から取り出しては食べ物に食らいついた。ついにはそれも面倒になり、鍋を胸の所まで抱え上げ、かぶりつきながら鍋飯を食べたという。そのため、この男神は「大椀棚荒胸元鍋抱」というあだ名で呼ばれるようになった。その後、この男神とハルニレの女神は、人間界に降りて子どもを授かることになった。そして生まれたのが、あなただったのだ。そして、あなたの伯父、蒼天の男神には六人の娘がいた。一番下の娘が人間世界を照らす日の女神、すなわち私なのだ。高貴な神の子であるあなたを、神の世界で育てるのではなく、人間の世界で重み与えるため、私はこの地に下つてあなたを育てているのだ。』と、アイヌラックルを育てている女神は語つたのだ。

*1「アイヌラックル」

「人間のような神」という意味。アイヌ伝承の英雄神で、地上におけるアイヌ民族の祖として登場する。

*2「ハルニレ」

ニレ科の高木。アイヌ民族はニレの皮の繊維を使い衣服をつくる。

戸籍の窓

8月21日～9月20日までの届出分（敬称略）

●いつまでもお幸せに

田口 伸也 ♡ 奥山 綾香 北星町
柏木 将太 ♡ 遠藤 綾香 中央町

●お誕生おめでとございます

竹澤 楓悟（孝広 千鶴） 東町

●おくやみ申し上げます

竹中 スミエ 9 2 歳 美 宇
芳住 邦子 7 5 歳 大 富
小田島 シゲ 9 2 歳 高 江
浅川 房江 9 9 歳 東 泊 津
中村 正子 7 5 歳 大 富
齊藤 霧都美 4 4 歳 太 陽
泉澤 カズ子 9 3 歳 古 岸

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係
☎ 0146・47・2112

灯油タンク（ホームタンク）の油漏れに注意！

老朽化による配管・タンクの腐食／配管の誤切断・損傷により漏油が発生し、環境汚染や重大な事故に繋がります。

使用する時期の前に今一度確認をお願いします。

消防署新冠支署

火災・救急出動状況（ ）かつこ内は前年同期

区分	火災件数	救急件数	災害出動件数
9月	0件（0件）	29件（25件）	3件（2件）
6年1～9月	4件（3件）	212件（262件）	14件（23件）

交通事故発生状況（ ）かつこ内は前年同期

区分	発生件数	死者	傷者
9月	1件（0件）	0人（0人）	1人（0人）
6年1～9月	3件（3件）	0人（0人）	6人（3人）

人のうごき

人口 5,054人（前月比 - 11人）
男 2,545人（前月比 ± 0人）
女 2,509人（前月比 - 11人）
世帯 2,824世帯（前月比 - 4世帯）

（令和6年9月末現在）